

ルアミノベンズアルデヒドなどのN-置換アミノアルデヒド類が挙げられる。

イミノ基を有する化合物の具体例としては、ジシクロヘキシルカルボジイミドなどのN-置換カルボジイミド類；およびN-エチルエチリデンイミン、N-メチルベンジリデンイミンなどのシップ塩基類などが挙げられる。

[0049] エポキシ基を含む化合物の具体例としては、プロピレンオキサイド、テトラグリシル-1,3-ビスアミノメチルシクロヘキサン、エポキシ化ポリブタジエンなどが挙げられる。ピリジル基を有する化合物の具体例としては、4-ビニルピリジンなどのピリジル基を有するビニル化合物が挙げられる。

→ アルコキシル基を含む化合物の具体例としては、ビス(トリエトキシシリルプロピル)テトラサルファイド、ビス(トリブトキシシリルプロピル)テトラサルファイド、 γ -グリシドキシプロピルトリメトキシシラン、メチルトリフェノキシシランおよびテトラメトキシシランなどが挙げられる。

ハロゲンを含む化合物の具体例としては、四塩化錫、四塩化ケイ素、トリフェニルモノクロル錫、トリフェノキシクロロシラン、メチルトリフェノキシシランおよびジフェノキシクロロシランが挙げられる。

[0050] 共役ジエン系ゴム(B)を構成する共役ジエン系重合体鎖は、前述の共役ジエン系ゴム(A)を構成する共役ジエン系重合体鎖と同様に、共役ジエン単量体の単独重合体鎖または共役ジエン単量体と芳香族ビニル単量体との共重合体鎖であることが好ましく、共役ジエン単量体単位50～100重量%および芳香族ビニル単量体単位50～0重量%からなるものであることがより好ましい。さらに、所望により、共役ジエン系重合体鎖は、共役ジエン単量体単位および芳香族ビニル単量体単位以外の、他の単量体単位を含んでいてもよい。共役ジエン単量体、芳香族ビニル単量体およびその他の単量体の種類、量比などは、前述の共役ジエン系ゴム(A)を構成する共役ジエン系重合体鎖の場合と同様に選択することができる。

[0051] 共役ジエン系ゴム(B)の重量平均分子量は、前述の共役ジエン系ゴム(A)と同様に、1,000～3,000,000、好ましくは10,000～2,000,000、より好ましくは300,000～1,200,000の範囲で適宜選択される。分子量が高すぎると、シリカの配合が困難となったり、シリカを配合した未架橋ゴム組成物の加工性が低下したりする傾